

# 日本原子力学会 核燃料部会

## 平成 25 年度 第一回運営小委員会議事録

日時 : 平成 25 年 4 月 26 日 (金) 11 : 00 ~ 12 : 20

場所 : 東京大学 工学部 9 号館 大会議室

出席者 : (委員以下は 50 音順)

岩田部会長、安部田副部会長、池田委員 (NDC)、岩元委員、緒方委員、草ヶ谷委員、高野委員、高松委員、寺井委員、永瀬委員、平井委員、巻上委員、真寄委員、松浦委員、野田[記] (15 名)

### 議事

#### 1. 前回運営小委員会議事録確認

野田庶務幹事から、前回平成 24 年度第四回運営小委員会議事録 (資料 No. 1) を提示した。なお、メールにて事前に議事録案を提示済みであり、説明は省略。

#### 2. 平成 24 年度核燃料部会運営小委員会委員の変更について

野田庶務幹事から、メール審議で了承済の委員変更 ((株) ジルコプロダクツにおいて若松委員から岩元委員に交代) について説明した。

#### 3. 平成 25 年度夏期セミナーについて

松浦委員から、資料 No. 10-1 および 10-2 により、夏期セミナーの進捗状況について説明した。

講師は概ね決まり、現在残り 4 つの講演の講師を確認している。

また、「核燃料部会の旅費・謝金・参加費内規」に、部会が負担する講師の宿泊費は上限 1 泊 1 万円と決まっていることから、宿泊費の実費は 1.2 万円であるが、講師には 1 泊 1 万円を支払うこととした。

なお、巻上委員から、資料 No. 10-2 の補足として、7 月に予定されている会社体制変更により巻上委員から講演者が変更となるような場合には、講演者の交通費を部会に求める可能性がある旨説明があった。

#### 4. 核燃料部会公印の作成について

野田庶務幹事から、資料 No. 3 により、核燃料部会の公印作成について説明した。コメントは無く、了解された。

#### 5. 平成 26 年度業務分担案について

野田庶務幹事から、資料 No. 4 により、平成 26 年度の業務分担案について説明した。

緒方委員から、JNES 内で承認された緒方委員の任期が 12 月までであり、かつ後任を選出しないことと決まっているため、JNES として平成 26 年度業務分担を担当できない旨説明があった。

#### 6. 核燃料部会報について

巻上委員から、資料 No. 5 により、核燃料部会報 NO. 48-2 の準備状況について説明した。執筆者には 5 月 12 日原稿締切で依頼しており、5 月末頃の発行を予定している。

巻頭言については、依頼した方の了解が得られなかったため、構成を見直し、巻頭に適した記事を配置することにする予定。

## 7. 平成24年度 収支報告

野田庶務幹事から、資料 No.6 により、平成 24 年度収支を説明した。

平成 24 年度支出が計画より少なくなったため、年度末に本部予算配分が約 90 千円減らされたとの説明があった。

## 8. 安全対策高度化に向けた核燃料技術戦略マップの取組みについて、および日本原子力学会「安全対策高度化技術検討」特別専門委員会における核燃料分野（燃料・炉心・安全）の活動について

安部田副部長から、資料 No.8 および No.7 により、新体制等に関する説明があり議論した。

（新体制案）

- ・ 2 月より、資源エネルギー庁の委託を(株)三菱総合研究所 (MRI) 経由で原子力学会が受け、新設した「特別専門委員会」で産官学の活動を開始している。
- ・ 「燃料高度化ロードマップ WG」の活動は終了し、「溶融事故における核燃料関連の課題検討 WG」の活動も見直し、「安全対策高度化に向けた核燃料技術戦略マップ策定 WG (仮称)」を「特別専門委員会」に関連付けて設立する。
- ・ 核燃料部会内の活動を纏めている「核燃料タスクチーム」は、新体制が設立された時点で終了する。
- ・ 新体制の委員構成等については今後協議する。

（進捗状況）

- ・ 今週（4 月 22 日の週）、特別専門委員会が開催されたが、「安全対策高度化に向けた核燃料技術戦略マップ策定 WG (仮称)」設立に関する議論は行われておらず、WG 設立の承認は得られていない。
- ・ 次回の特別専門委員会で、「安全対策高度化に向けた核燃料技術戦略マップ策定 WG (仮称)」の方向性について議論する予定。

岩田部会長から、事故対応だけではなく燃料の基礎的な部分を見直すことも必要、燃料に関して楽しいことを考えることも重要であり新しいアイデアをリストアップする、長期的な展望が必要等のコメントがあった。これに対して、安部田副部長から、今後の部会としての新しい夢のある提案等については別途相談しながら検討していくと回答があった。

## 9. WRFPM2014 実行委員会の報告

安部田副部長から、資料 No.9 により、WRFPM2014 の投稿申し込みについて次回組織委員会および実行委員会で提案すると説明があり、コメント無く了承された。

## 10. その他

- ・ 次回運営小委員会は、夏期セミナー時に開催する。
- ・ 野田庶務幹事から、本日（4 月 26 日）13：30 から開催される第 9 回溶融事故 WG に運営小委員会委員も出席できるように溶融事故 WG 幹事と調整済であると説明があった。

以上